



万代町…徳島県庁があることでも知られる街。中でもケンチョピアは全国的に見ても珍しいヨットハーバーとして知られる。

新たな新時代の街づくりを目指した ろじひろばプロジェクト

◆Voicesゲスト

亀井組代表取締役 朝野佳伸さん
建築家 畝森泰行さん



畝森泰行さん



朝野佳伸さん

ろじひろばプロジェクトの
キッカケは？

朝野社長／2011年5月に亀井組の次の100年に向けたビジョンである「グリーンコンストラクションカンパニー(GCC)」という言葉を生み出しました。GCCとは10年後の世代や地域にできるだけ良い環境を残すという明確な意思表示です。その言葉とともに計画されたのが、鳴門市黒崎で進めようとする「Garden * House 黒崎」というプロジェクトですが、それを今回徳島市中心部で展開することにになりました。それがこの「ろじひろば」です。このプロジェクト初期からお世話になっているのが畝森泰行建築設計事務所の畝森(ウネモリ)さんです。

今回計画している

「ろじひろば」のコンセプトは？

畝森さん／自分の住む場所は家の間取りや性能だけでは決めないですよね？例えば、近くに公園があることや子どもが通う学校があることなど周辺の環境も一緒に重視されると思います。でも実際に家を建てるとなると、家の中だけの設計になってしまい、周囲との関係や連

続性は考えられていないのが実情です。今回は家のみならず周辺環境や街そのものを計画します。

朝野社長／まず、街区デザインなどは路地を設けることで周辺の街並みと馴染むようにしています。また、通常の分譲地だと二棟単体でみればきれいな家だとしても、全体で見た時に大きな違和感というか戸建てごとに個性が強すぎてしまう場合がありますが、「ろじひろば」では街並み全体をプロデュースすることでとても落ち着いたイメージの街になると思います。かつ、組み込まれた路地が非常に良い役割を發揮すると思います。

昔は路地そのものが

地域のコミュニケーションの
場所でしたよね？

畝森さん／そうですね、路地でご近所さんに会うと挨拶したり立ち話をしていましたよね。それが防犯的な一面もありました。僕が子どもの頃は家の境界など考えなくて家の廻り全てが遊び場でした。近所の子どもたちが集まってみんなで遊びを発見したり考え

たりしていましたし、それを大人が見守ることがあたり前でした。

朝野社長／路地があるからこそ生まれる隣近所とのコミュニケーションもありますから、「ろじひろば」でもそういったコミュニケーションが取ることができるようになりたいですね。

建物のコンセプトは
ありますか？

朝野社長／地球環境、周辺環境へ負荷を与えない住宅にするのはもちろんですが住環境も大切です。住まいとしての性能は亀井組の持つ技術を結集したものに なります。

畝森さん／プライバシーの確保や自然採光、風通しの良さなど快適に生活できる計画になっています。それにくわえて北側の家にも光が入るように南側の家の位置をずらしたり高さを低くするなど調整しています。

朝野社長／畝森さんの設計により、統一感はあるけれどもそれぞれの家は全く同じデザインにはならないです。それぞれが住まい手の個性あふれる家になりますよ。

次号に続く



このページに関するお問い合わせは、
088-625-2100(亀井組)まで
9時～18時/土・日・祝 休

Roji * Hiroba

BANDAICHO

ろじひろば 万代町 <http://rojihiroba.jp>